20240128 猪高の森自然観察会　2024 年 1 月報告書

猪高の森自然観察だより　１月号

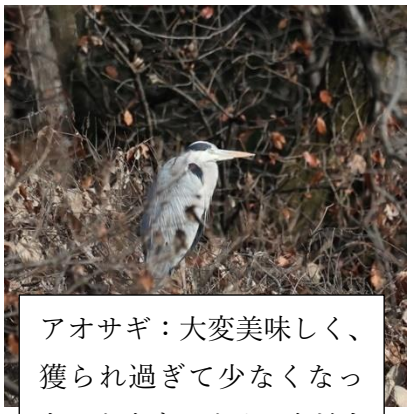
開催日時：2024 年 1 月 28 日（日）
天候：晴れたり曇ったり
気温：最低 0.9℃、最高 11.3℃（名古屋に於いて）

テーマ:冬越しする木や草・鳥と虫
参加者構成:一般 16 名(内 NACS-J 会員 4 名)
コース予定: 森の集会所 → シダレザクラの里→ こもれび池 →塚ノ杁池堤体 → 木道 → すり鉢池 → 木道 → 森の集会所

今年は、暖冬とのことでしたが、やはり寒い日もあります。１日のうちの寒暖差も大きく、昨夏昨秋の高温乾燥もあり、生き物たちに影響を与えていると思われます。

（左上の画像はアーチェリー場の紅梅、画像は当日でないものを含みます。）

○塚ノ杁池・こもれび池の野鳥たち



アオサギ：大変美味しく、獲られ過ぎて少なくなったこともあるとか。イギリスやフランスでもかつて宮廷料理として出されたとか。

ダイサギ:日本には本州以南で越冬する夏鳥の亜種チュウダイサギと沿海州から冬鳥として渡ってくる亜種ダイサギがいます。

カワウ:かつては絶滅に瀕したこともあります。水にぬれた翼を乾かす姿をよく見かけます。

カルガモ：カモの仲間で日本で留鳥として１年中見られるのはこの種だけです。春に子連れの姿が見られるかも。

ジョウビタキ雌：羽の白い模様が目印。日本には冬鳥として飛来します。なわばりを持ちます。

ウグイス：三鳴鳥のひとつ。ですが、「ホーホケキョ」とさえずるのは、もう少し春になってから。藪の中を住処とするので、花札の「梅に鶯」は実は「梅に目白」が正解とか。

カワセミ：背の青色、胸のオレンジ色がとても美しく、これに会うともう満足感に浸れます。水に飛び込む魚取りが見られたらラッキーです。留鳥です。

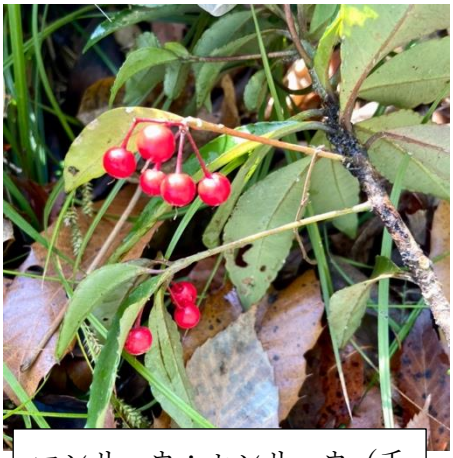
アオゲラ:この猪高緑地で姿を確認できたら超ラッキーな鳥。九州ではコゲラより多く姿をみるとか・・。羨ましい限り。「キョッキョッ」とか「ピョーピョー」と鳴く。日本固有種。留鳥。

ルリビタキ雄:成熟した雄でないと美しい青色がでない鳥。若い雄は雌に似た色合いをしています。なわばりを持ちます。冬鳥です。

今年は冬鳥のオオバンをまだ確認していません。鳥の世界でも何か変化が起こっているのでしょうか？

〇花は少ないけれど、実の生っているものはありました。

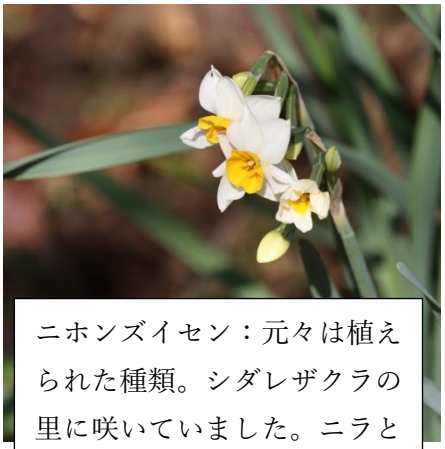
ジャノヒゲ：青色の実が美しい。正確には実ではなく、種そのもの。皮をむくと弾力のある種は「はずみ玉」の別名も。生薬の「麦門冬」はこの塊根を乾かしたもの。
よく似ているヤブランの実は黒に近い藍色で葉も太く、区別は容易です。
下はヤブランの実



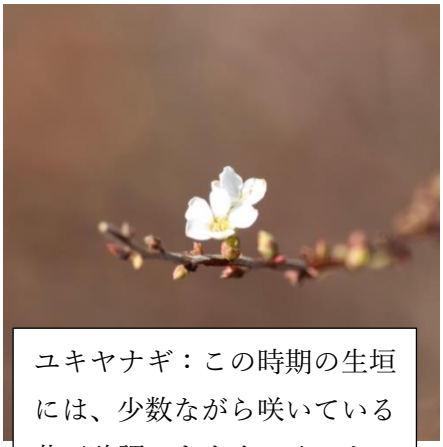
マンリョウ：センリョウ（千両）、カラタチバナ（百両）、ヤブコウジ（十両）、アリドオシ（一両）、ミヤマシキミ（億両）と縁起の良い樹のひとつ。漢字で書くと当然「万両」。
語呂合わせで、「千両万両アリドオシ（有り通し）」と揃えると、お金持ちになった気分を味わえるとか・・。

アオキ：冬に庭や林内を彩る赤い実は雌株のみに着きます。漢名は「桃葉珊瑚」。
５月になっても変な形の実が付いていたらそれは虫こぶです。
日陰に強く、常緑で赤い実をつける事から、良く庭に植えられています。パーフェクトプランツのひとつとされています。

スギの雄花：今年は２月中旬ごろから花粉の飛散が始まるとか。



ニホンズイセン：元々は植えられた種類。シダレザクラの里に咲いていました。ニラと間違えて食され、事故に繋がることもあります。



ユキヤナギ：この時期の生垣には、少数ながら咲いている花が確認できます。チョウのホシミスジの食樹。

キリ：昨年咲いた花後に生った実が割れ、種を風に乗せて散布しています。叩くと細かい種を確認出来ました。

キリ：今年咲く予定のつぼみ。春になると、青紫色の花を咲かせます。

フユイチゴ：9～10 月に開花し、12～1 月に実がなる珍しいイチゴ。遅くなると何かに食べられてなくなります。

〇虫たちの姿は少なかったでした。

ムラサキシジミの卵と成虫

左の画像はアラカシに産み付けられたムラサキシジミの卵と成虫の姿、成虫で越冬する種類ですが、卵を見つけてしまいました。（2022 年 12 月号に詳しく載せています。）

コナラにあったヤママユガの繭

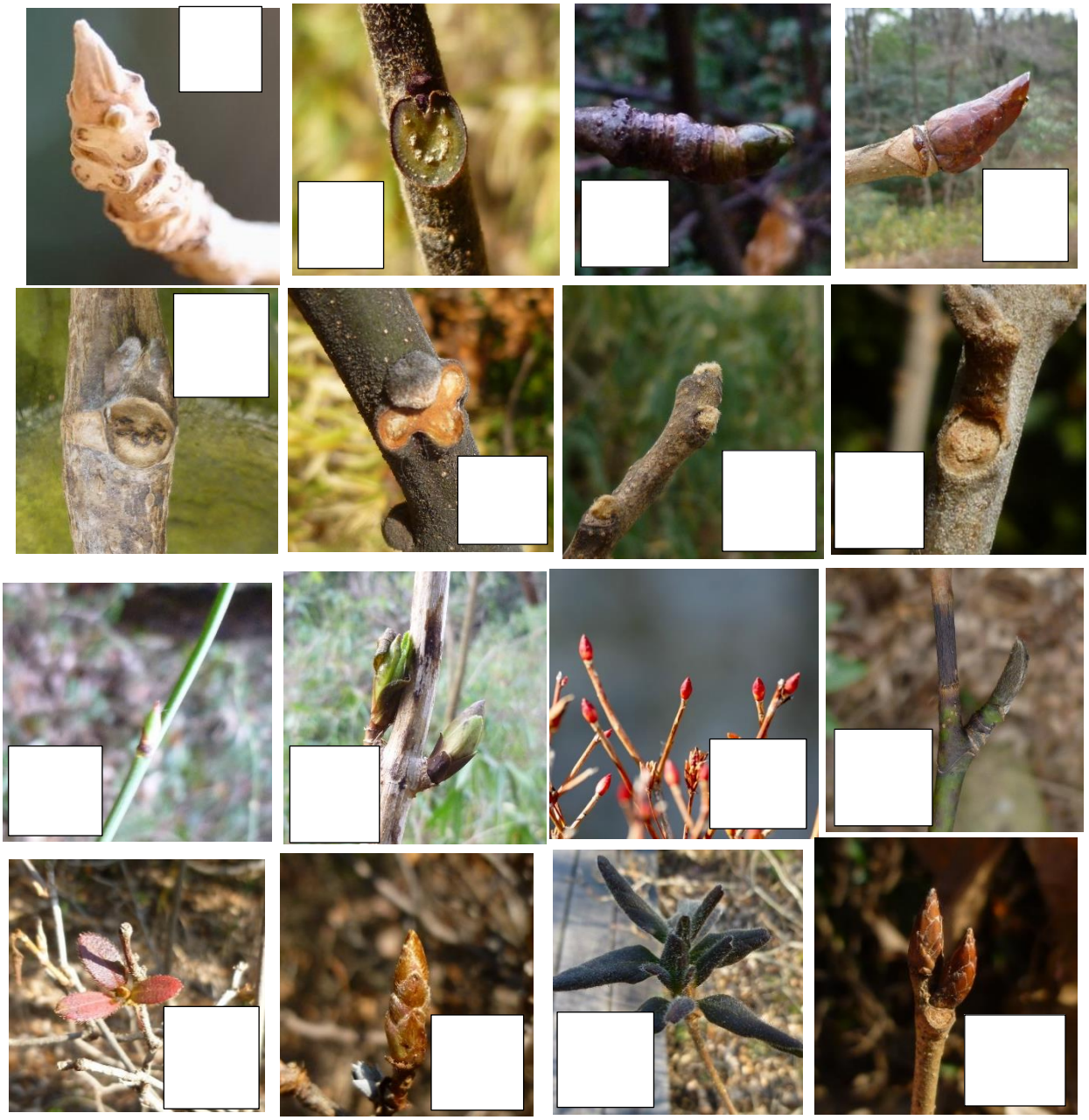
右はヤママユガの繭（まゆ）。天蚕（てんさん）の別名を持ち、この繭から取れる絹糸はカイコのそれよりも軽くしなやかで、織物にした時には皺になりにくいのだそうです。

〇冬芽と葉痕から樹の種類がどこまでわかるかな？

実際は、幹の姿や付近に落ちている葉などを参考にしながら判断します。画像を見てどこまでわかるか、試してみてください。

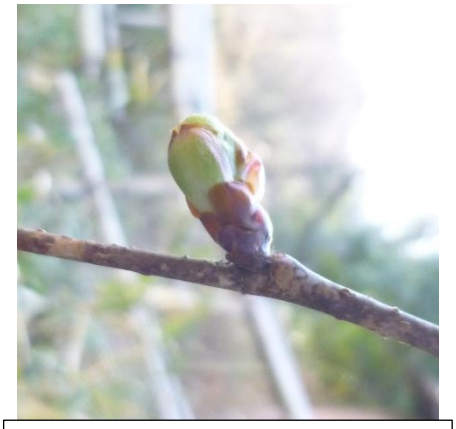
載せている樹は①コブシ（葉芽）・②クサギ・③センダン・④ヌルデ・⑤オニグルミ・⑥クズ・⑦ヤマツツジ・⑧コバノミツバツツジ・⑨モチツツジ・⑩ドウダンツツジ・⑪タカノツメ・⑫トチノキ・⑬アベマキ・⑭ヤマブキ・⑮アカメガシワ・⑯ソメイヨシノ⑰カワヅザクラ・⑱カクレミノ・⑲アジサイ・⑳ミツバアケビ・㉑ネジキ・㉒ゴンズイ・㉓イソノキ・㉔イロハカエデ・㉕サンショウ・㉖ニセアカシア・㉗タラノキ・㉘ヤマコウバシ・㉙カジイチゴの 29 種です。

解答は、最後のページにあります。



いかがでしょうか？普段見慣れている木の冬の姿が新しい発見に繋がることを期待して、答え合わせをしてみてください。

〇ニホンアカガエルが産卵を始めていました。画像は 2 月 6 日に写しました。緑地内の 3 か所の水場です。最初の産卵は 1 月 31 日～2 月 1 日の雨のときになされたようです。
詳しくは、2 月の猪高の森だよりにて・・・。



１月３０日撮影
膨らみ始めたカワズザクラの蕾

次回観察会は２月 25 日（日）

森の集会所集合　9：30～です。

塚ノ杁池東堤体から望む御嶽山

冬芽と葉痕クイズの答え

⑤オニグルミ	②クサギ	⑪タカノツメ	⑫トチノキ
⑥クズ	③センダン	④ヌルデ	⑮アカメガシワ
⑭ヤマブキ	⑲アジサイ	⑩ドウダンツツジ	① コブシ（葉芽）
⑦ヤマツツジ	⑧コバノミツバツツジ	⑨モチツツジ	⑬アベマキ
⑱カクレミノ	⑳ミツバアケビ	⑯ソメイヨシノ	⑰カワヅザクラ
㉘ヤマコウバシ	㉒ゴンズイ	㉗タラノキ	㉑ネジキ
㉖ニセアカシア	㉙カジイチゴ	㉕サンショウ	㉔イロハカエデ
㉓イソノキ			

名東自然倶楽部の HP では毎月の猪高の森の自然観察会の紹介をしています。

http://sizen.ciao.jp/　から是非ご覧になってください。

（右上の自然観察グループをクリックしてください。）